

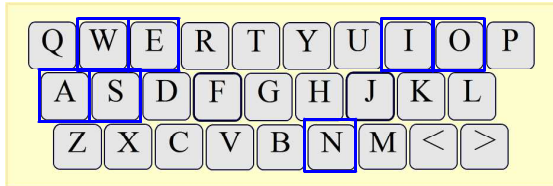
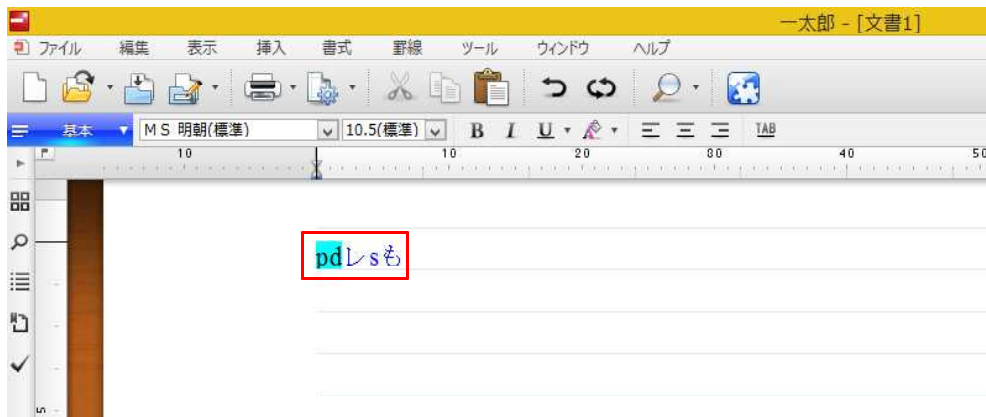
【ATOK 2016編】

うっかり指の位置がずれたまま入力しても直してくれるマル秘テク

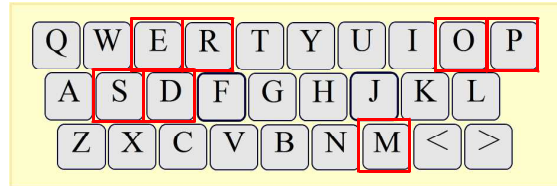
タッチタイピングのときや、急ぎの入力で焦ったときに、指がキーボードのホームポジションからずれてしまうことがあります。誤りに気が付いたときにはすでに数文字タイプしてしまっている、というケースもあるでしょう。これまでは、[Esc] キーを押して入力を取り消したり、削除したりする必要がありましたが、ATOK 2016では、手の位置のずれのミスを自動で補正してくれます（ATOKタイプコレクト）。

1. 「おせわに」と入力しようとして、指の位置が右に1つずつずれた状態で入力してしまった。

ATOK 2015では、入力ミスのままで、補正されません。

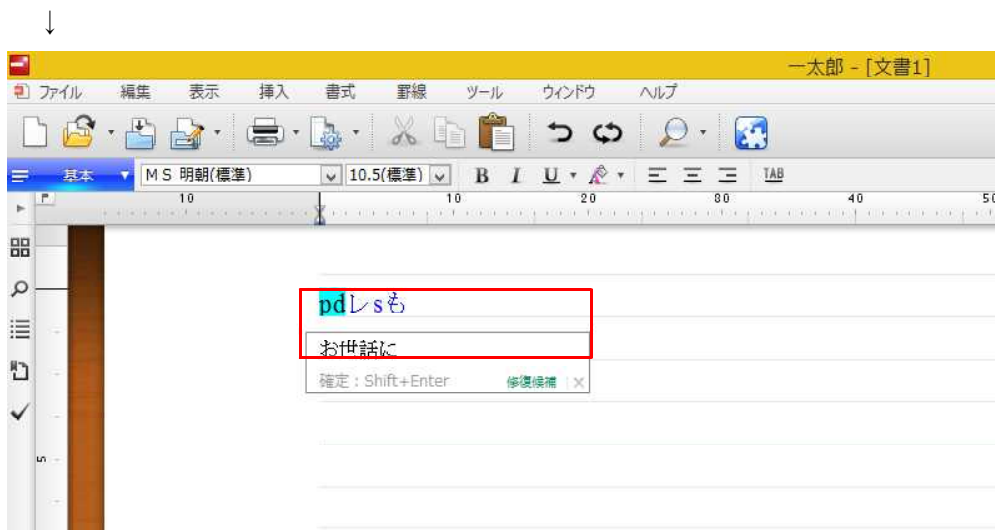


左：正しい入力キー

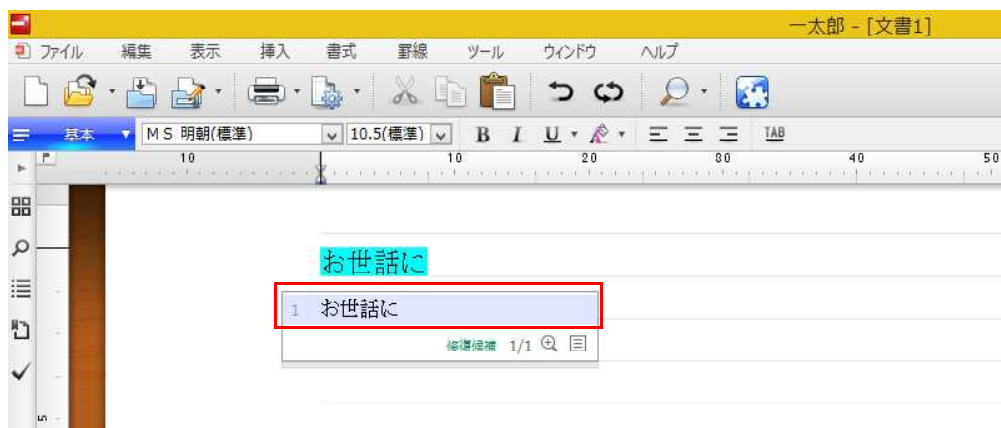


右：ズレたときの入力キー

2. ATOK 2016では「スペース」キーを押して変換すると、入力ミスを補正し、修復候補として「お世話に」が表示されます。



3. [Tab] キーを押して候補を選択します。



4. [Enter] キーを押して「お世話に」を確定します。

